

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	安全な生活環境および地域経済活動環境を作ること
(2) 事業内容	<p>贈与契約締結終了後、直ちに要員の派遣、事務所の借り上げ及び開設、資機材の調達等を実施した。またコロール州政府等と調整の結果、1月24日海中調査に必要な許可証を取得した。2月～4月の間、ヘルメットレック周辺(1,000m)にある爆雷の処理をするための海中調査を実施するとともに、現地スタッフへの訓練及びNMAWG(地雷処理ワーキンググループ)において、作業許可取得のため、調査結果及び爆雷の処理要領を説明した。</p> <p>現在、NMAWG内において作業許可について検討中である。</p>
(3) 達成された効果	<p>(1) 爆雷の探査 コロール州から海中調査の許可を受け、ERW処理専門家による潜水作業により 第1船倉：爆雷0 第2船倉：爆雷57発 第3船倉：爆雷102発 船倉外：5発 合計164発の爆雷の存在を確認した。予想の2倍以上の爆雷である。 別紙1 ヘルメットレック調査結果</p> <p>(2) 爆雷の処理 パラオ政府並びにコロール州政府からの作業許可待ち。</p> <p>(3) 現地スタッフへのERW処理補助者としての訓練 レンジャー隊員2名に対し、技術移転計画に基づき訓練した結果、潜水技術についてはそれぞれレベル2まで向上した。ERW処理技術については、爆雷の処理作業が始まってから訓練する予定である。 別紙2 イーガン技術評価表 別紙3 ウェイランド技術評価表</p> <p>(4) NMAWGへの助言 海中調査の結果を報告するとともに、処理作業の要領について助言した。</p>
(4) 今後の見通し	パラオ政府並びにコロール州政府からの作業許可ができれば、処理作業は順調に進むものと思料する。